

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場取引所 大

上場会社名 日本出版貿易株式会社
 コード番号 8072 URL <http://www.jptco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員事業管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 庵之下 博文
 (氏名) 岩崎 哲明

TEL 03-3292-3751

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,151	△1.7	7	—	△4	—	△47	—
24年3月期第2四半期	3,205	3.3	△5	—	△28	—	△92	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △55百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △36百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△6.83	—
24年3月期第2四半期	△13.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	5,005	737	14.7	105.70
24年3月期	6,342	793	12.5	113.69

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 737百万円 24年3月期 793百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	0.9	126	17.8	97	27.6	29	222.2	4.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	7,000,000 株	24年3月期	7,000,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	22,300 株	24年3月期	22,100 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	6,977,704 株	24年3月期2Q	6,978,471 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成25年3月期の連結業績予想は、「平成24年3月期 決算短信」(平成24年5月15日付)において公表した数値より変更してありません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞から持ち直しつつあるものの、長期化する海外経済の減速懸念や、円高の長期化、電力供給不安等で、未だ先行きは不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループは引き続き円高メリットを享受出来る輸入部門の売上拡大を図りました。メディア事業の売上はクラシック、ジャズの定番の廉価輸入CDなどが順調でしたが、洋書事業は未だ原発事故の影響か、外国人居住者・旅行者の数が戻らず、またネット販売の影響もあって店舗での売上げが落ちており予算は下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は31億5千1百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。利益面では販売管理費の抑制に努め、営業利益は7百万円（前年同四半期の営業損失5百万円）、経常損失は4百万円（前年同四半期の経常損失2千8百万円）となりました。四半期純損失におきましては、テナント退去費用の他特別損失4千2百万円の計上を行った結果4千7百万円（前年同四半期の四半期純損失9千2百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は以下のとおりであります。

(出版物・雑貨輸出事業)

円高基調が定着している中、海外大学・研究機関で購読されている年間購読誌は、新規受注もあり堅調に推移しましたが、予算削減での高額書籍の買い控えもあり全体では厳しい状況でした。また、日本語教材、雑貨なども円高と外国製の競合他社の攻勢により苦戦を強いられました。

その結果、当部門の売上高は6億9千万円（前年同四半期比7.2%減）、営業利益は1千4百万円（前年同四半期比23.7%減）となりました。

(洋書事業)

TOEIC熱の高まりで英語関連教材、ペーパーバックなどは堅調に売上を伸ばしております。外国雑誌は、弊社が日本総販売権を有している、フランスのelle, MarieClaire, イギリスのNature他韓流関連の雑誌が堅調に推移しました。しかしネットでの洋書販売が大幅に伸びており、店頭での販売は苦戦を強いられております。弊社物流センターオープンによる経費削減は功を奏しており、業務の効率化が進んでおります。

その結果、当部門の売上高は7億4百万円（前年同四半期比20.0%減）、営業損失は4千2百万円（前年同四半期の営業損失8千9百万円）となりました。

(メディア事業)

輸入音響関連商品は円高の追い風の中、海外代理店商品の発掘を強化して参りました。特にクラシックやジャズの代理店商品は好調で、ジャズレーベルの「Not Nowシリーズ」は累計で100万枚を超えるヒットとなりました。またクラシックでは1950年代のヨーロッパの人気レーベル「ウェストミンスター」シリーズもシニア中心のマニア向け市場で好評を得ております。しかしながら韓流関係では競争も激しく、利益率を落としております。輸入雑貨の開発を本格的に開始し、欧州から輸入したスマートフォン関連のヘッドフォン、ケースカバーは販売も好調で、円高の追い風で収益にも大きく貢献しております。その結果、当部門の売上高は14億8千8百万円（前年同四半期比16.3%増）、営業利益は6千7百万円（前年同四半期比20.1%減）となりました。

(不動産賃貸事業)

日貿ビルの老朽化に伴い、建替え、売却の両面から検討をしておりますが、平行してテナント各社とは退去交渉を行っております。

その結果、当部門の売上高は6千万円（前年同四半期比19.1%減）、営業利益は2千万円（前年同四半期比38.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ13億3千6百万円減少し、50億5百万円となりました。

これは、主に流動資産で大学等への英語教科書の春季販売分の回収により受取手形及び売掛金が10億9千1百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ12億8千1百万円減少し、42億6千8百万円となりました。

これは、主に流動負債で支払手形及び買掛金が10億8千1百万円減少したことによるものであります。

支払手形及び買掛金の減少は受取手形及び売掛金で記載した大学等への英語教科書の仕入代金の支払によるものであります。

純資産は、主に四半期純損失の計上により5千5百万円減少し、7億3千7百万円となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末より2.2ポイント増加し14.7%となりました。

キャッシュフローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、2億円減少し、10億6千7百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は1億3千5百万円（前年同四半期は8千7百万円の資金の減少）となりました。

これは主に売上債権が10億9千3百万円減少した一方、仕入債務が10億8千1百万円、前受金が8千6百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は8百万円（前年同四半期は2千万円の資金の増加）となりました。

これは主に有形固定資産の取得に1百万円、無形固定資産の取得に7百万円それぞれ支出したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は5千7百万円（前年同四半期は950千円の資金の増加）となりました。

これは主に短期借入の返済が1億5千万円（純減）実行されましたが、資金の安定化を図るため長期借入9千7百万円（純増）を行ったことによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期第2四半期累計期間の業績予想につきましては、平成24年11月13日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。なお通期の業績予想につきましては変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,307,813	1,118,699
受取手形及び売掛金	2,144,554	1,052,888
有価証券	11,808	—
商品及び製品	820,035	814,832
原材料及び貯蔵品	368	442
繰延税金資産	24,134	23,951
その他	98,404	90,831
貸倒引当金	△8,581	△6,737
流動資産合計	4,398,537	3,094,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	297,862	291,786
土地	1,178,600	1,178,600
リース資産（純額）	21,509	27,742
その他（純額）	10,092	9,704
有形固定資産合計	1,508,065	1,507,832
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	277,553	246,104
長期貸付金	5,832	5,352
繰延税金資産	55,284	55,280
その他	75,473	75,208
貸倒引当金	△36,651	△36,426
投資その他の資産合計	377,492	345,519
固定資産合計	1,944,108	1,910,887
資産合計	6,342,645	5,005,795

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,854,343	773,109
短期借入金	2,194,940	2,105,885
リース債務	9,336	11,388
未払法人税等	5,157	6,595
前受金	291,395	204,848
賞与引当金	15,412	14,923
デリバティブ債務	2,868	1,064
返品調整引当金	39,961	18,751
その他	196,912	172,143
流動負債合計	4,610,327	3,308,709
固定負債		
長期借入金	332,195	368,530
リース債務	22,996	26,017
退職給付引当金	155,104	144,706
再評価に係る繰延税金負債	371,604	371,604
その他	57,034	48,657
固定負債合計	938,935	959,516
負債合計	5,549,263	4,268,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	430,000	430,000
資本剰余金	195,789	195,789
利益剰余金	△386,884	△434,509
自己株式	△5,448	△5,485
株主資本合計	233,456	185,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△38,049	△49,385
繰延ヘッジ損益	△656	—
土地再評価差額金	671,057	671,057
為替換算調整勘定	△72,425	△69,897
その他の包括利益累計額合計	559,925	551,774
純資産合計	793,382	737,569
負債純資産合計	6,342,645	5,005,795

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	3,205,261	3,151,261
売上原価	2,584,014	2,572,644
売上総利益	621,246	578,616
返品調整引当金戻入額	49,890	50,311
返品調整引当金繰入額	37,830	29,101
差引売上総利益	633,306	599,826
販売費及び一般管理費	638,699	592,697
営業利益又は営業損失(△)	△5,392	7,128
営業外収益		
受取配当金	6,822	4,890
貸倒引当金戻入額	—	2,068
その他	1,021	1,631
営業外収益合計	7,843	8,591
営業外費用		
支払利息	18,672	18,588
為替差損	11,251	1,113
有価証券運用損	673	—
その他	324	144
営業外費用合計	30,922	19,846
経常損失(△)	△28,471	△4,126
特別利益		
固定資産売却益	246	—
特別利益合計	246	—
特別損失		
投資有価証券売却損	162	—
投資有価証券評価損	54,268	18,093
テナント退去費用	8,002	24,435
特別損失合計	62,434	42,528
税金等調整前四半期純損失(△)	△90,659	△46,654
法人税等	2,018	970
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△92,677	△47,625
四半期純損失(△)	△92,677	△47,625

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△92,677	△47,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,109	△11,336
繰延ヘッジ損益	24,905	656
為替換算調整勘定	2,831	2,528
その他の包括利益合計	55,846	△8,151
四半期包括利益	△36,831	△55,776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△36,831	△55,776
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△90,659	△46,654
減価償却費	22,918	23,299
投資有価証券評価損益(△は益)	54,268	18,093
貸倒引当金の増減額(△は減少)	276	△2,068
賞与引当金の増減額(△は減少)	△214	△488
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△13,760	△10,398
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△12,060	△21,210
受取利息及び受取配当金	△6,852	△4,902
支払利息	18,672	18,588
為替差損益(△は益)	△2,952	△596
有価証券運用損益(△は益)	673	—
投資有価証券売却損益(△は益)	162	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△246	—
売上債権の増減額(△は増加)	773,282	1,093,068
たな卸資産の増減額(△は増加)	65,752	6,868
仕入債務の増減額(△は減少)	△926,995	△1,081,772
前受金の増減額(△は減少)	81,033	△86,565
その他	△32,797	△26,336
小計	△69,497	△121,076
利息及び配当金の受取額	6,853	4,902
利息の支払額	△18,791	△18,419
法人税等の支払額	△5,644	△1,034
営業活動によるキャッシュ・フロー	△87,080	△135,628
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
投資有価証券の取得による支出	△305	△324
投資有価証券の売却及び償還による収入	24,227	2,345
有形固定資産の取得による支出	△988	△1,905
無形固定資産の取得による支出	△3,844	△7,965
有形固定資産の売却による収入	246	—
貸付金の回収による収入	1,370	480
その他	△251	△1,339
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,451	△8,710
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,000,000	1,850,000
短期借入金の返済による支出	△2,045,030	△2,000,000
長期借入れによる収入	150,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△83,020	△102,720
社債の償還による支出	△17,500	—
リース債務の返済による支出	△3,486	△4,994
その他	△13	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	950	△57,751
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,573	1,155
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△61,104	△200,934
現金及び現金同等物の期首残高	940,190	1,267,970
現金及び現金同等物の四半期末残高	879,086	1,067,035

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結損益計 算書計上額 (注) 3
	出版物・ 雑貨輸出 事業	洋書事業	メディア事 業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上 高	743,656	880,982	1,279,444	75,235	2,979,320	225,941	3,205,261	—	3,205,261
セグメント 間 の 内 部 売 上 高 又 は 振 替 高	178,805	—	—	—	178,805	732	179,537	△179,537	—
計	922,462	880,982	1,279,444	75,235	3,158,125	226,673	3,384,798	△179,537	3,205,261
セグメント 利益又は損 失(△)	18,657	△89,585	84,622	33,904	47,599	△3,809	43,789	△49,181	△5,392

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関係会社の小売を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△49,181千円はセグメント間取引消去△6,431千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△42,750千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社（提出会社）の管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結損益計 算書計上額 (注) 3
	出版物・ 雑貨輸出 事業	洋書事業	メディア事 業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上 高	690,426	704,566	1,488,044	60,840	2,943,878	207,383	3,151,261	—	3,151,261
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	167,466	—	—	—	167,466	2,542	170,009	△170,009	—
計	857,892	704,566	1,488,044	60,840	3,111,344	209,925	3,321,270	△170,009	3,151,261
セグメント 利益又は損 失 (△)	14,230	△42,122	67,622	20,750	60,480	△4,511	55,968	△48,839	7,128

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関係会社の小売を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△48,839千円はセグメント間取引消去△3,557千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△45,281千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社（提出会社）の管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。